

## 女は二度生まれる (1961)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 99分  
初公開日 1961/07/28

### 【解説】

富田常雄の小説『小えん日記』を、川島雄三が井手俊郎とともに脚色し監督。大映での初監督作品であり、川島の最高傑作の一つに挙げられる。川島が大映首脳陣を前に「若尾文子を女にしてみせる」と宣言したといわれる。

芸者の小えんは男相手の商売を続ける毎日を送っていた。そんな彼女は、銭湯への行き帰りに出会う大学生の牧にときめいていた。矢島という遊び人と箱根へ行った帰り、小えんは初めて牧と話をするが、彼は大学を出て他の場所へ行ってしまおうと言う。売春がばれて置屋が営業停止となってしまったため、小えんは銀座のバーで勤めることに。芸者時代に出会った筒井と再会し、小えんは彼の愛人になった。しかし筒井は病気で倒れ、そのまま亡くなってしまう。

### 【クレジット】

監督 川島雄三  
企画 川崎治雄  
原作 富田常雄  
脚本 井手俊郎  
川島雄三  
撮影 村井博  
美術 井上章  
音楽 池野成  
助監督 湯浅憲明  
出演 若尾文子  
藤巻潤  
フランキー堺 Frankie Sakai  
山村聡 So Yamamura  
山茶花究  
山岡久乃  
倉田マユミ  
村田知栄子  
高野通子  
江波杏子  
紺野ユカ  
山内敬子  
仁木多鶴子  
高見国一  
菅原通済

潮万太郎  
中条静夫  
八潮悠子  
穂高のり子  
花井弘子  
平井岐代子  
上田吉二郎